

建設コンサルタンツ協会中部支部
若手の会 WG

令和 4 年度活動報告書

令和 5 年 1 月

一般社団法人建設コンサルタンツ協会 中部支部

目 次

1. 活動目的とWGメンバー

- 1.1 活動目的 1
- 1.2 WGメンバー 1

2. 活動内容

- 2.1 WEB 会議システムによるWGの実施 2
- 2.2 学生PR①「イブニングサロン」への参加 3
- 2.3 学生PR②「JOB Cafe in 名古屋」の開催 4
- 2.4 本部との連携 建コン WILLSUMMIT2022 への参加 . . . 5
- 2.5 因夢 in 中部への投稿 6
- 2.6 「女性の会WG」との連携(合同WGの実施) 7

3. 感想と今後

- 3.1 年間の活動を通して 7
- 3.2 今後の活動に向けて 7

1. 活動目的とWGメンバー

1.1 活動目的

中部若手の会WGは、業界活性化、リーダーとして活躍する人材の育成、若手技術者同士が切磋琢磨を目的に、平成29年4月から任期を2年として発足しました。

現在、3期目として12名が登録しています。

★ 【活動目的】建設コンサルタントの将来を担うリーダーとして資質向上

建設コンサルタントは、安心・安全な国土形成と豊かな社会構築を果たすために、インフラに関する業務等を担う重要な存在です。しかし、従来から引き続き以下の課題に直面しています。

①激甚化する災害、②インフラの老朽化、③少子高齢化や技術者不足といった人材確保

また、昨今の社会情勢から上記に加えて以下の新たな課題も生まれています。

①新型コロナウィルス感染症に伴う生活様式の変化、②多種多様な働き方の考え方、③働き方改革の推進

わたしたちは、本WG活動を通じて、業界の現状と直面する課題を認識して、業界の未来を担う若手技術者として課題に対する解決策を模索して業界の活性化を図り、未来を担うリーダーとしての資質向上を目的としています。

★ 【活動概要】学生PR方法の模索⇒業界の入職率アップ・現状の把握⇒離職率ダウン

建設コンサルタント業界は、建設業に比べ知名度が低いため入職者が少ないことが、今後の業界の大きな問題となります。そのため、この現状を踏まえて、まず建設コンサルタントの知名度を向上させることを目的とした業界PR方法を模索しました。

また、業界の就労環境向上を図り離職率ダウンを目的として、現状の把握と解決策の模索を行いました。

1.2 WGメンバー

《リーダー》	☆ <u>中村 亮太</u>	大日コンサルタント株式会社
《サブリーダー》	☆ <u>堀 将誌</u>	大日本コンサルタント株式会社
《サブリーダー》	☆ <u>齊藤 正明</u>	株式会社カギテック
	☆ 島崎 正伍	株式会社エイト日本技術開発
	☆ 高山 美雪	八千代エンジニアリング株式会社
	☆ 永田 臨（～令和4年5月）	株式会社建設技術研究所
	☆ 山下 諒也（令和4年6月～）	株式会社建設技術研究所
	☆ 八幡 吉樹	株式会社フジヤマ
	☆ 鷯田 一博	中央コンサルタンツ株式会社
	☆ 大野 峻	株式会社オリエンタルコンサルタンツ
	☆ 岡戸 光	中日本建設コンサルタント株式会社
	☆ 井上 公究	日本工営都市空間株式会社
	☆ 万 毅（～令和4年6月）	株式会社国際開発コンサルタンツ
	☆ 供田 豪（令和4年7月～） ¹	株式会社国際開発コンサルタンツ

2. 活動内容

2.1 各種会議等の開催・参加

(1) 概要

若手の会 WG では、活動内容の検討等を目的として定例WGを開催しました。

上記定例WGに加えて、技術部会へ参加しました。

(2) 定例WG

1) 開催目的

定例WGは、本WGの活動内容をメンバー同士で提案・議論を行い、各イベント等の内容を充実させることを目的としました。

2) 開催型式

開催形式は、メンバーの業務状況や新型コロナウイルス感染状況等を踏まえて以下の開催方式から選択して柔軟に対応しました。

・対面形式 ・WEB形式 ・ハイブリッド形式(対面とWEB 併用)

3) 開催時期

定例WGは、繁忙期を避けて4～12月の期間で月1回開催しました。

第1回：令和4年 4月27日 10:30～12:00

第2回：令和4年 5月24日 10:30～12:00

臨時：令和4年 6月14日 15:00～17:00

※「WILLSUMMIT2022」のトークテーマ検討

(「2.4 本部との連携 建コンWILLSUMMIT2022への参加」参照)

第3回：令和4年 6月24日 15:00～17:00

※「女性の会WG」と合同により開催

(「2.6 女性の会WGとの連携」参照)

第4回：令和4年 7月11日 10:00～12:00

第5回：令和4年 8月26日 15:00～17:00

第6回：令和4年 9月20日 15:00～17:00

第7回：令和4年 10月17日 15:00～17:00

第8回：令和4年 11月18日 15:00～17:00

第9回：令和4年 12月23日 10:00～12:00



(3) 技術部会

1) 開催目的

技術部会の4委員会（道路委員会、河川委員会、構造土質委員会、都市計画委員会）と活動内容の報告と情報共有を図ることを目的としています。

昨年度までは、毎年1月末頃に開催の「拡大技術部会」のみへの参加でしたが、今年度より定例の技術部会へも参加させていただきました。

2) 主な議題

技術部会の主な議題は、各委員会の直近（前回の技術部会以降）の活動結果と活動予定の報告、技術部会として各委員会の情報共有です。

3) 開催時期

技術部会は、拡大技術部会を含めて年4回開催しております。今年度の開催時期は、以下のとおりです。

第1回：令和4年 5月11日 15:00~17:00

第2回：令和4年 7月27日 15:00~17:00

臨時：令和4年 9月15日 15:00~17:00

※「中部圏インフラ整備構想」について

第3回：令和4年10月26日 15:00~17:00

第4回（拡大技術部会）：令和5年 1月25日 15:00~17:00

4) 感想

技術部会の委員会は、対外的（行政機関、協会員等）な講習会や意見交換会の企画・開催をしており、各イベントの内容や進め方等について情報を教えていただき本WGでの企画等への参考となりました。



2.2 学生 PR①

「愛知建設みらいサロン」への参加



(1) 参加目的

愛知県が主催する学生への業界 PR の場である「イブニングサロン」に参加して、就職活動を行う学生の方に対し“建設分野の魅力”を発信するとともに“建設分野に携わる若手人材の育成”を行うことを目的としています。

(2) 開催校

以下の3校へ訪問しました。

- ・大同大学
- ・中部大学
- ・名古屋工業大学

(3) 参加した感想

例年参加させていただいており、建コンの魅力伝えていますが、建コン業界の認知度がなかなか浸透していない印象を受けました。

情報発信の場や手法をより検討する必要があると感じました。
今後もこのような場には、積極的に参加していきたいと思います。



2.3 学生PR②

「JOB Café in 名古屋」の開催

(1) 開催目的

学生が職業選択を行うにあたって「建コン」について知る機会、現状、インターンシップや新卒採用向けの企業説明会など、特定の企業とのつながりに限られています。

そのため、就職活動を控えた学生と若手技術者が自由に話すことで、学生側が「建コン」業界全体を知る機会と、有益な情報を得られる場を創出する目的でジョブカフェの企画・開催をしました。

(2) 日時

令和4年11月19日(土) 14:30~18:00

(3) 場所

オフィスパーク名駅・花車デザイン会議室(名古屋市)

(4) プログラム

- I. 建設コンサルタントとは?
- II. 建コン若手のとある一日
- III. 建コンに就職を決めた理由
入社前後のギャップとやりがい
- IV. フリートーク



(5) ジョブカフェを終えて…

参加した学生の多くは、業界について認知、又は志望していたので、より深い話をすることができました。

今後は文理を問わず、より幅広い学生に参加してもらえようような情報発信を検討していきたいと思います。



2.4 本部との連携

建コンWILLSUMMIT WORKATION 2022 への参加

(1) 参加概要

「業界展望を考える若手技術者の会（本部若手の会）」が主催する「建コンWILLSUMMIT WORKATION 2022」へ代表メンバーが参加しました。コロナ禍での各支部の活動報告を通して、事例を共有するとともに、他支部の若手組織との交流を図りました。

(2) 日時

令和4年7月21日（木）～23日（土）

(3) プログラムと主な報告・議題

【DAY 1】活動の横展開、理想の働きがい獲得のための課題を洗い出そう

- ・ 各支部の活動状況の報告
- ・ グループワークセッション
- ・ 懇親会



【DAY 2】ワーケーションを体験しながら、課題解決策の気づきを得よう

- ・ 講演・セミナー
「千曲市のワーケーションの取り組みについて」
- ・ 戸倉上山田温泉の現地見学会
- ・ ワケーション体験



【DAY 3】課題解決に向けた個々が考えるネクストアクションを具体化し共有しよう

- アクティビティ体験
- オンサイトミーティングセッション
- 腸活体験レクチャー



2.5 離職率ダウン(満足度アップ)の推進

(1) 概要

建設コンサルタント業界は、社会情勢から人材確保が課題となっており、人材確保のために業界PR等の就職希望者アップへの対策が加速しています。

しかし、業界を去り他業界への転職等による離職がみられます。貴重な人材が業界を離れることは、人材確保の観点からも問題となると考え、離職率ダウンへの活動を検討しました。

(2) 活動内容

離職率ダウンに関する活動は、活動内容を模索することから始めて以下のステップを踏まえることとしました。

ステップ①：現状把握⇒アンケート案の作成

ステップ②：現状分析⇒アンケート結果の分析

ステップ③：活動内容の決定⇒アンケート結果から業界の方々のニーズを踏まえてイベント等（勉強会、PR活動等）を企画・立案、、そして開催

ステップ④：活動結果分析⇒活動結果を分析して、活動内容の改善を行い継続する

今年度もステップ①を行いました。

2.6 「女性の会 WG」との連携(合同 WG の実施)

(1) 概要

昨年開催した中部支部役員との意見交換会において、「女性の会 WG」より活動内容の連携を図り、活動内容の充実を目的として、合同 WG の提案をいただきました。

そこで、上記提案を受けて合同 WG を開催して活動内容の共有と充実を図りました。

(2) 内容

以下の内容について合同 WG にて議論し、活動の参考としました。

1) 「WILLSUMMIT WORKATION 2022」のトークテーマ

「2.4 本部との連携」で紹介しました「WILLSUMMIT WORKATION 2022」におけるグループディスカッションのテーマ提案と司会進行を、中部支部の若手の会 WG で担当することとなったため、トークテーマの素案を議論しました。

2) 「現状把握アンケート」の素案に関する意見交換

「2.5 離職率ダウン」で紹介した現状把握アンケートの素案について、意見交換を行いアンケート内容の充実を図りました。

(3) 効果

若手の会 WG とは違った視点での意見をいただけて、内容が充実できたと考えます。

お互い業務やイベントがあるのでお互い多忙ですが、今後も合同 WG を継続したいと考えます。



3. 感想と今後

3.1 年間の活動を通して

新型コロナウイルス感染症が始まって2年が過ぎて、感染状況に応じてWG活動への制約にも慣れてきました。

そのような状況下で、本部主催の「建コン WILLSUMMIT WORKATION 2022」への参加、女性の会WGとの合同WGの開催等を経験することができました。過去2年に比べると、より多くのイベントや交流を経験できて、メンバーのよい刺激となりました。全国の若手技術者との交流を経て、改めて人同士のつながりが重要だと実感しました。

今後は、「新しい生活様式／ニューノーマル」が当たり前となり、「ポストコロナ」の時代に向けた活動の仕方を模索しつつ、今回のつながりを大切に継続していく必要性を感じています。

before コロナの時代に取り残されない建コン業界の在り方を考え、情報共有や連携強化、行動に移せるように努めていきたいと思えます。

3.2 今後の活動に向けて

◇ジョブカフェの継続

学生や若い世代に向けて、より幅広い情報発信（例：SNSの活用、情報共有の場の提供、学校との連携）の強化が必要であると感じました。参加者への事後アンケートでも好評であったのでジョブカフェを継続して開催する。開催時期はインターン開始前がよい。

◇女性の会WGとの意見交換会

女性のWGの活動報告、次年度に向けた課題などを共有し、今後の活動方針を検討することが有効と考えます。

今後も女性の会WGとの連携を図りたいと思えます。

◇離職率ダウンへの活動

現状把握アンケートの実施と結果分析し、今後の活動内容を検討します。